

ひるまだより

vol.42
2011.11

医療法人社団トモニアユム
ひるま矯正歯科
Hiruma Orthodontic Office

立川市曙町2-9-1 菊屋ビルディング2F TEL:042-526-3376/FAX:042-528-1102 URL:<http://www.hiruma.or.jp/>

特集

ライターSの患者さんインタビュー⑩

「今後はデンタルドックでメンテナンスを」

リテナー終了後、定期的に通院しクリーニングしているKさんにお話を伺いました。インタビューの内容をダイジェスト版でお届けします。全文はホームページで。

◆矯正治療を始めようと思ったきっかけは？

歯並びが悪く、見た目が気になっていったというのがありますが、歯磨きがしづらくて虫歯になることがあり、矯正治療をした方がいいかなと思っていました。大学生になってアルバイトである程度貯金もできてきたので始めました。

◆医院探しはどのようにしましたか。

地元が立川なので、インターネットで探してひるま矯正歯科に行きました。ホームページが綺麗で印象

が良かったんだと思います。実際に来てみたらイメージ通りでした。

◆治療で大変なことはありましたか。

矯正治療は、装置を着けているというだけでそんなに違和感もないし普通に過ごせました。ただ、途中からゴムをつけないといけなくなると、それがすごく面倒でした。食事の時にはずして、食べ終わると歯磨きをして鏡を見ながらつけるのです。外食をするところ、タイミンが難しくて、それでも8割ぐらいはちゃんとやっていたかなと思います。

◆歯磨きはきちんとしていましたか。

やっていたと思います。装置がついて歯磨きしづらいのですが、もともと歯並びが悪くて歯磨きが難しかったので同じような感じですね。今はリテナーも外れて、磨きやすくなりました。ただ仕事が忙しくて

ついフロスをやり忘れることがあります。

◆リテナー終了後、何か違和感がありますか？

なにもないです。昔は食べ物がよくはさまっていましたが、今はそんなこともないですね。定期的に診ていただいているので安心だし、後戻りもないと思います。

◆今後はどのようにメンテナンスしていきますか。

デンタルドックでメンテナンスをお願いしようと思っています。やつぱり毎日忙しく過ごしているのと、歯に対する意識が低くなっているって、ついサボったりしてしまふのです。定期的に通院して診てもらって、自分の意識を高めていこうと思います。今日もクリーニングしてもらったので、今晚からまたフロスも再開します。

ついついケアを怠ってしまうというKさん。デンタルドックでこれからも安心ですね！(S)



Kさんの症状について解説します

●初診時の診断：「上突咬合、両突歯列」

Kさんは上顎歯列が下顎歯列に対して前方に位置する Angle class II 上突咬合で上下顎前歯の重なりが大きい過蓋咬合を呈しています。治療方針としては上下顎歯列の前後的なずれ、叢生の改善、上顎前歯の突出による口唇閉鎖時の緊張感の改善のために上下左右4番の抜歯を行い、上顎の大白歯は近心（前方）に移動しないように最大限の固定、下顎の大白歯は積極的に近心に移動させるようにして上下歯列の前後的なずれを改善するようにしました。治療結果は上下歯列の前後的な位置関係は改善し臼歯関係は左右対称な Angle class I になり、過蓋咬合も改善されました。保定期間を通してわずかに前歯の重なりは深くなりましたが、それ以外の問題は認められず保定装置を除去しても叢生や空隙の発生は認められませんでした。動的治療期間は約30ヵ月を予定しましたが予測を超えて約35ヵ月かかりました。理由は臼歯の改善に予想よりも時間がかかってしまったためと考えられました。保定期間中のメンテナンスにより口腔衛生状態はより良好になり虫歯・歯周病のリスクはさらに減少しました。

